

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）主催
第 2 回 文法研究ワークショップ “形容詞”をめぐるとる諸問題（2）

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）では、「文法研究ワークショップ」として、記述言語学を志す学生や研究者が最新の研究成果や調査データを紹介しあうことにより、学生・研究者の交流や、最新の情報の共有を目指します。

5 月に開催された第 1 回に続き、今回も“形容詞”をテーマに、2 名の大学院生の方々に報告をお願いします。日本語で“形容詞”に分類される「大きい」「良い」「うれしい」といった概念を表す語は、世界の諸言語を見渡すと“名詞”または“動詞”の一部に分類されることが少なくありませんが、一方で“名詞”や“動詞”とも異なる特徴を見せることから、これらの概念を表す語は各言語において扱ひの難しい語彙に入るでしょう。本ワークショップでは、諸言語の事例を通してこれらの語が持つ通言語的な多様性を観察し、その文法的な特異性を捉え直すことを目指します。

記

1. 開催日時: 2011 年 10 月 29 日(土)14:00 ~ 17:00
2. 会場: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 セミナー室(3 階 301 号室)
3. プログラム:

鍛冶広真(東京大学大学院)
「エウエン語の形容詞節」

新永悠人(東京大学大学院)
「北琉球奄美湯湾方言の形容詞：通時的変化を共時的に記述する」

※本ワークショップは、遠方からの参加も可能になるよう、Ustream によりインターネット中継を行います。また、Twitter によりコメントも受け付けます。Twitter で参加される方はハッシュタグ #ilcaaf1ws をご利用下さい

※参加には応募が必要です。以下の応募要項に従いご応募下さい。

募集要項

1. 応募資格: 記述言語学分野の学生・研究者(修士課程在籍以上)を原則とします。
2. 応募方法: 次の情報を下記「3. 申込先」に電子メールでご送付下さい。電子メールの件名は必ず「文法研究 WS 参加希望」として下さい。
 - (1) 氏名(ふりがな)
 - (2) 所属
 - (3) メールアドレス
 - (4) 動画公開時のプライバシー: ①顔が映っても問題ない ②顔が映るのは不可
3. 申込み先: AA 研言語ダイナミクス科学研究プロジェクト事務局
lingdy-office[at]aacore.net ([at] を@ に変えて送信ください)
4. 募集人数: 15 名程度
5. 募集締め切り: 2011 年 10 月 21 日(金) 正午
6. 選考方法: 先着順を原則とします。
7. 選考決定と通知: 受講の可否は、10 月 25 日までに本人あて電子メールにより通知します。
8. 問い合わせ先: 本ワークショップに関するお問い合わせは、AA 研言語ダイナミクス科学研究プロジェクト事務局 (lingdy-office[at]aacore.net([at] を@ に変えて送信してください)) まで、電子メールにてお問い合わせください。